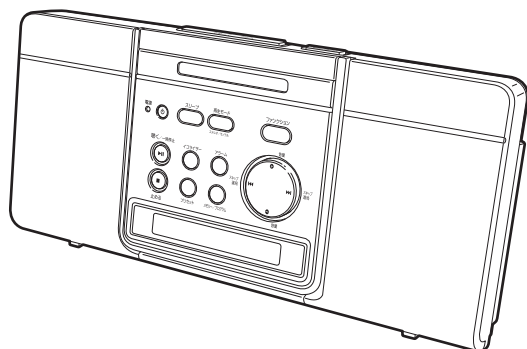


取扱説明書

(保証書別途添付)

このたびはコイズミ ステレオCDシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1~3
ご使用になる前に	4
CDについて	4
設置場所について	4
各部のなまえ	5~6
ハンドルの使いかた	6
電源について	7~8
家庭用電源で使うには	7
乾電池で使うには	7
バックアップ用電池について	8
時計の合わせかた	9
CDを聴く	10~12
ディスプレイの表示について	11
いろいろな演奏のしかた	11
プログラム演奏	11
リピート演奏/ランダム演奏	12
ラジオを聴く	13~14
プリセット機能	14
記憶させた放送局を聴く	14

外部音声機器を聴く	15
つなぎかた	15
Bluetooth® 機器の音声を聴く	16
Bluetooth®について	16
イコライザー機能	17
アラームの使いかた	18~19
スヌーズ機能	19
スリープ機能	19
お手入れのしかた	20
本体のお手入れ	20
レンズのお手入れ	20
仕様	20
故障かな?と思われたときは	21
RESETスイッチについて	21
アフターサービスについて	22
お客様の個人情報のお取り扱いについて	23
お客様相談窓口	23

安全上のご注意

- *ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



注意

誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示例と絵表示の意味



○ 記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

⚠ 警告

煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントからACアダプターを抜く

そのまま使用すると、事故の原因になります。
必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。

本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。



電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。



本体の通風孔、CDの挿入口などから金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしない
お子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする

電源コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴ったら、機器の金属部やACアダプターに触れない また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手でACアダプターを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない 修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



電源プラグは清潔にする 刃および刃の取付面にほりかが付着している場合は拭き取る

ショート・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。

電源コードを熱器具に近付けない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない（CD部）

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池やボタン電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

乾電池やボタン電池の破裂・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器等を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する
接続は指定のコードを使用する

乾電池やボタン電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池やボタン電池の発熱・破裂、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池やボタン電池は幼児の手の届かないところに保管する

万一飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。



はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ずACアダプターをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のためACアダプターをコンセントから抜いて行う
感電の原因となることがあります。



ACアダプターを抜くときは電源コードを引っ張らない
電源コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ずACアダプターをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う
接続コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



長時間使用しないときは乾電池を取り出しておく
乾電池の液もれで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



幼児がCD挿入口に、手を入れないように注意する
ケガの原因となることがあります。

ご使用になる前に

- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

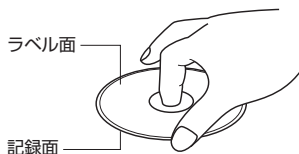
CDについて

CDの種類

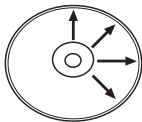
- COMPACT DIGITAL AUDIO マークの入ったディスクをご使用ください。
- CD-R/RWの場合は、CD-DA(Compact Disc Audio)フォーマットで記憶されたディスク(ファイナライズされたもの※)を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。
※音楽用CD-R/RW再生対応機器で再生できるように処理すること。
- コピーコントロールCDやCD規格外の特形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

※記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



※CDに指紋や汚れが付いたときは、やわらかい布などで、中心から端へとふき取ってください。



※記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



ご注意

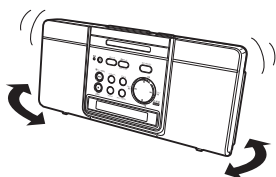
円形以外(ハート型など特形状)のディスク、ひびやそりのあるディスクは絶対に使用しないでください。

設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓ぎわの電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

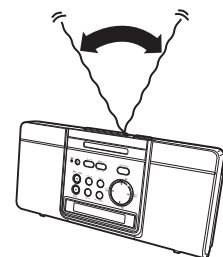
AM放送の場合

本体を動かし、もっとも良く聞こえるところに設置してください。(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

できるだけ高いところにFMアンテナを張ってください。



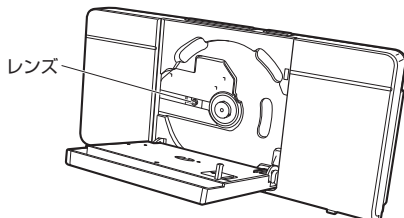
ご注意

- 次のような場所では使用・保管しないでください。
 - 直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
 - ちりやほこりなどの多い場所。
 - 風呂場など湿気の高い場所。
 - テレビやチューナーなどのそば。
雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。
- 温度が低い環境で操作されると、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。
その場合は、あたたかい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。
- キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。
- レンズにほこりがつかないように使用しないときは、CDドアを開けておいてください。またレンズにはさわらないようにしてください。
- 本体の分解・改造は絶対にしないでください。

結露について

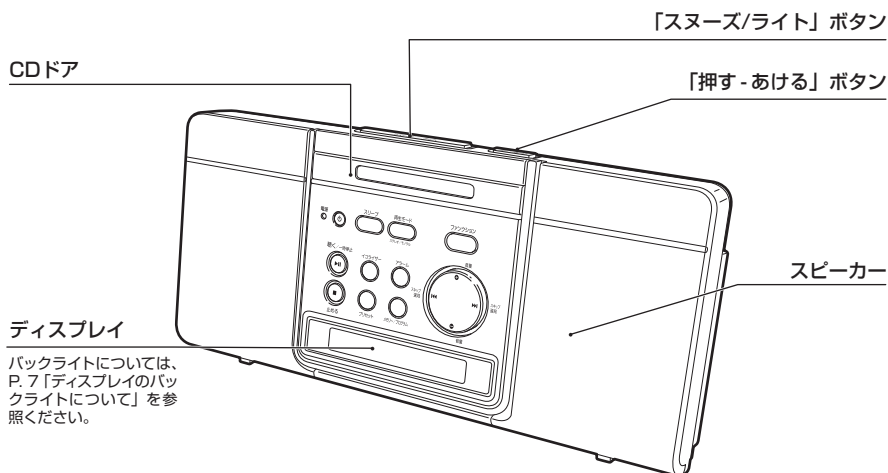
周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴がついた状態では正しく演奏できません。

このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。

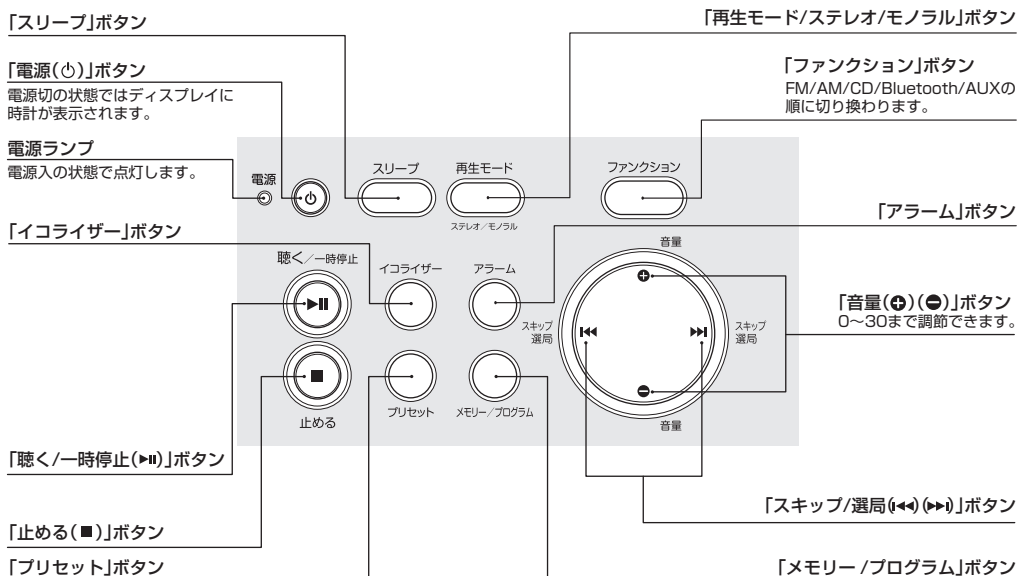


各部のなまえ

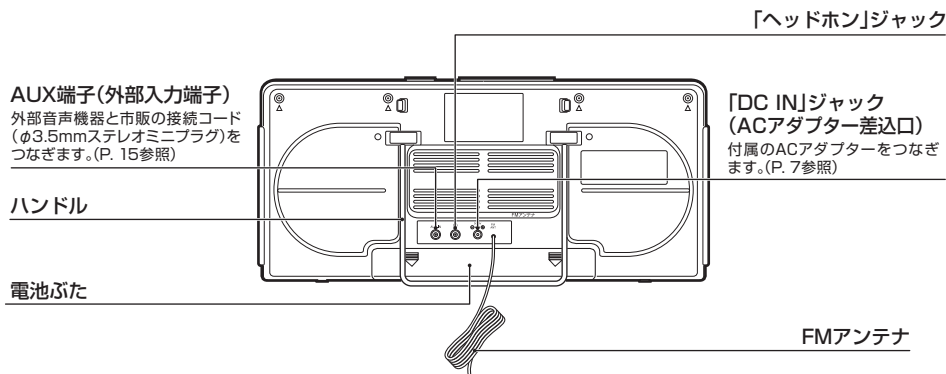
本体



操作部



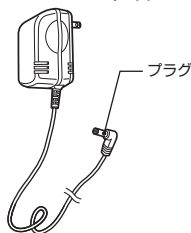
背面



付属品

※以下の付属品が同梱されていることを確認してください。

●ACアダプター(型番:SAD-9001)



●取扱説明書(本書)

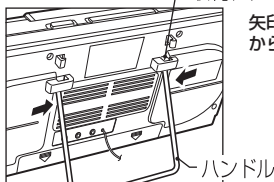
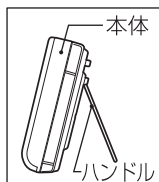
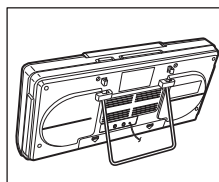


●保証書

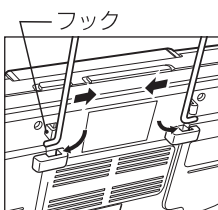
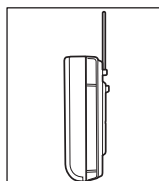
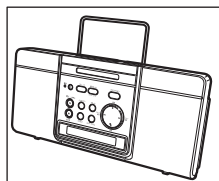


ハンドルの使いかた

卓上用 ■ハンドルを起こし、卓上用として使用します。



持ち運び／壁掛け用



ご注意

壁かけする際は、壁の厚さが10mm以上の板、もしくは桟のある場所に取り付けてください。土壁、繊維壁には直接掛けしないでください。使用中に落下するおそれがあります。

電源について

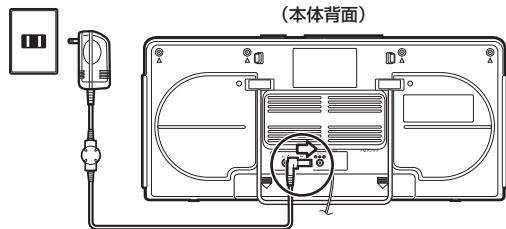
家庭用電源で使うには

1. ACアダプターのプラグを本体のDC INジャックへ差し込む。
2. ACアダプターをコンセントへ差し込む。

ご注意

- ACアダプターを抜くときは、電源コードを持たずに必ずACアダプターを持って引き抜いてください。感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。電源コードに傷がついて、火災や感電の原因となります。

家庭用電源コンセント
AC100V



ACアダプター (型番 : SAD-9001)

※付属のACアダプターは、SDB-4341専用です。他の製品には使用しないでください。

※使用中、熱くなることがありますが異常ではありません。

ディスプレイのバックライトについて

ボタン操作後、約8秒後に自動的にバックライトが消灯します。「スヌーズ/ライト」ボタンを押すことで、常時点灯/消灯を選ぶことができます。

乾電池で使うには

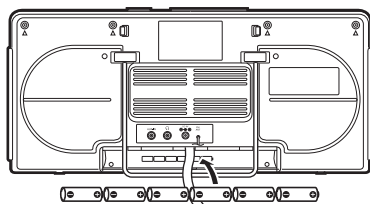
※本機からACアダプターを取り外してください。

1. 電池ぶたを開ける。
2. 単3形乾電池6本(別売)を右図のように入れ、電池ぶたを閉める。

ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。

- 長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- 使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
- 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。



単3形乾電池6本
(別売)

電池ぶた

この部分を指で押さえながら、矢印の方向に押します。

ディスプレイのバックライトについて

ボタン操作後、約4秒後に自動的にバックライトが消灯します。

乾電池の交換目安

乾電池が消耗してくると、CDが正常に動作しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。このようなときや、ディスプレイにバッテリーマークが表示されたときは、新しい乾電池と交換してください。

バックアップ用電池について

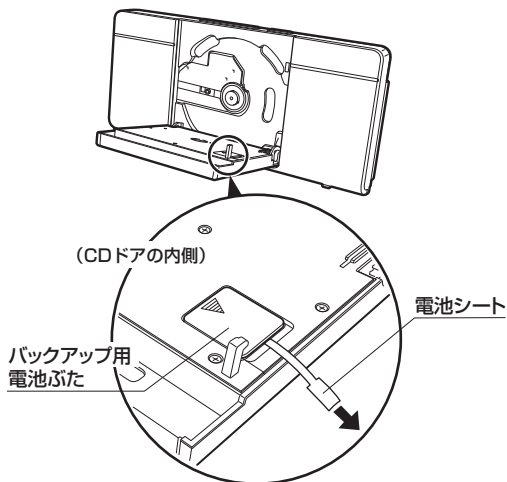
■停電時や乾電池切れの時に、設定した時計機能等を一時的に記憶しておくための電池です。

ご使用前に、バックアップ用電池ぶたを開けて、電池シートを矢印の方向に引き抜いてください。

ボタン電池(CR1616)が付属しております。

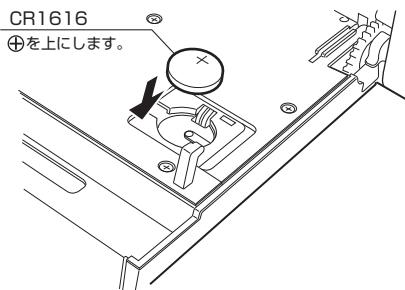
ご注意

- 本機はバックアップ用電池を入れなくても動作しますが、停電時やACアダプターを抜くと時計機能などを維持しません。
- ボタン電池の破損・液もれ防止のために次のことはお守りください。
 - 長期間使用しないときは、ボタン電池を取り出しておいてください。
 - 長期間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
 - 使い切ったボタン電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
 - ⊕プラスと⊖マイナスは正しく入れてください。
 - 火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。



バックアップ用電池の交換のしかた

- ①CDドアの内側のバックアップ用電池ぶたを開ける。
- ②ボタン電池(CR1616)を入れ、電池ぶたを閉める。



バックアップ用電池の交換目安

ACアダプターのご使用状況にかかわらず約1年間です。

時計の合わせかた

電源「切」の状態で

1. 「再生モード」ボタンを押す。

2. 「スキップ/選局(⏮)(⏭)」
ボタンで[時計]を選ぶ。
[12H]・・・12時間表示
[24H]・・・24時間表示

3. 「再生モード」ボタンを押す。

4. 「スキップ/選局(⏮)(⏭)」
ボタンで[時]を設定する。
• はやく進める(戻す)には長押し
します。

5. 「再生モード」ボタンを押す。

6. 「スキップ/選局(⏮)(⏭)」
ボタンで[分]を設定する。
• はやく進める(戻す)には長押し
します。

7. 「再生モード」ボタンを押して
設定を保存する。

(例)24時間表示「16時30分」

<ディスプレイ>

12H

[時計]が点滅

24H

[時計]を選ぶ

00:00

[時]が点滅

16:00

[時]を合わせる

16:00

[分]が点滅

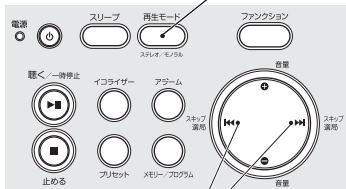
16:30

[分]を合わせる

16:30

点灯→時計の設定完了

操作部



1、3、5、7

2、4、6

※約10秒以内に操作しないと、自動的に設定が保存され、元の状態に戻ります。

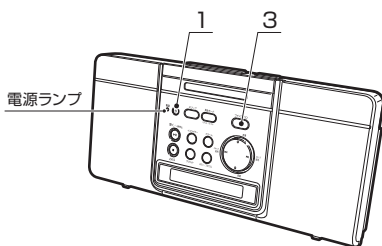
※設定途中でも「スヌーズ/ライト」ボタンを押すと、それまで設定した内容が保存されます。

CDを聴く

※CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。
ご使用前に保護シートを取り外してください。

1. 「電源(ⓘ)」ボタンを押して電源を入れる。

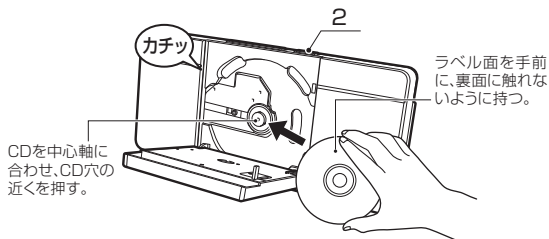
- 電源ランプが点灯します。



2. 本体の「押す-あける」ボタンを押してCDドアを開け、CDをセットする。

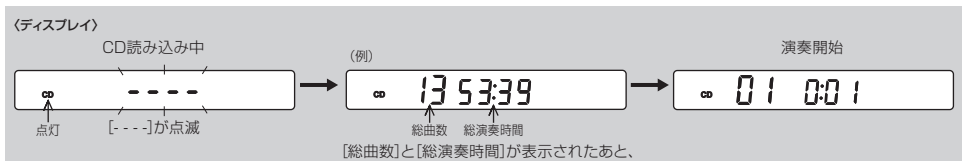
- CDドアを「カチッ」と音がするまでしっかり閉めます。

※CD-R/RWに記録されたCD、コピーコントロールCDは再生できない場合があります。



3. 「ファンクション」ボタンを押して[CD]を選ぶ。

- ディスプレイに総曲数と総演奏時間が表示された後、1曲目から演奏が自動的に始まります。
- 全曲演奏が終わると、自動停止します。
- 演奏停止後、無操作の状態では約1分間経過すると自動的に電源が切れます。



音量を調節する	「音量(+) (-)」ボタンを押す。	早送り・早戻しする	演奏中／一時停止中に 「スキップ/選局(⏮) (⏭)」ボタンを押し続ける。 ● ボタンから指を離すと演奏に戻る。
演奏を止める	「止める(■)」ボタンを押す。	曲の頭を探す(スキップ)	演奏中／一時停止中 「スキップ/選局(⏮) (⏭)」ボタンを押す。
一時停止する	「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押す。 ● 演奏に戻るにはもう一度押す。	停止中	停止中 「スキップ/選局(⏮) (⏭)」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、 「聴く/一時停止(⏸)」ボタンを押す。

CDを聴く

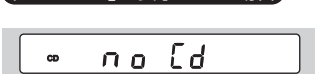
ディスプレイの表示について

停止中



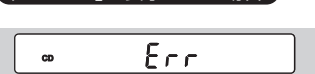
総曲数と総演奏時間が表示されます。

「No DISC」と表示された場合



CDがセットされていないことを示します。

「ERROR」と表示された場合



CDが読み込めないことを示します。

ご注意

- 本機は、CD-R/RW録音機器で作成した音楽用CD-R/RWディスクの再生も可能です。ただし、CDや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R/RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで15秒前後かかります。
- コピーコントロールCDは再生できない場合があります。
- 直接ファイルを記録したCD(MP3ディスクやWMAディスク等)は再生できません。

以下の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか？
- CDの裏表を間違えていませんか？
- レンズが汚れていませんか？(P. 20参照)
- CDが汚れたり、傷ついていませんか？
- 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 4参照)

いろいろな演奏のしかた

プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

停止中に

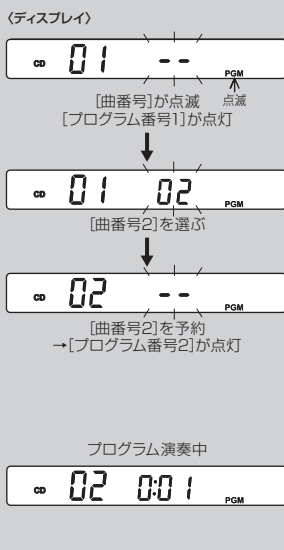
1. 「メモリー/プログラム」ボタンを押す。

2. 「選局(◀▶)」ボタンでお好みの曲を選び、「メモリー/プログラム」ボタンを押す。

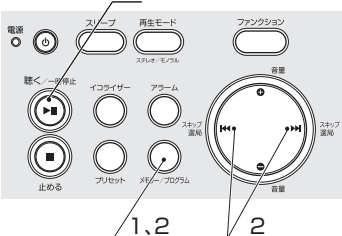
3. 上記2の操作を繰り返し、予約していく。
※最大20曲までお好みの曲を予約順に聴くことができます。

4. 「聴く/一時停止(▶||)」ボタンを押す。
● プログラム演奏が始まります。

(例) [プログラム番号1]に[曲番号2]を予約



操作部



※プログラム演奏中は「PGM」が点灯します。プログラムを解除すると「PGM」の表示が消えます。

プログラム演奏を止める 「止める(■)」ボタンを押す。		プログラムを解除する	「止める(■)」ボタンを2回押す。 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を切る。 「ファンクション」ボタンを押して他のファンクション(Bluetooth/ラジオ/AUX)に切り換える。
---	--	-------------------	---

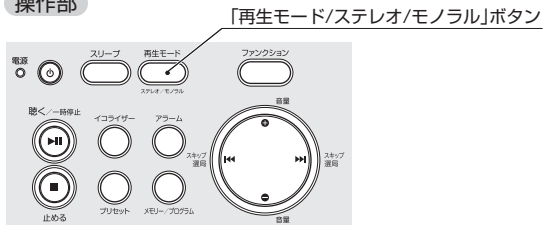
リピート演奏/ランダム演奏

演奏中/一時停止中に

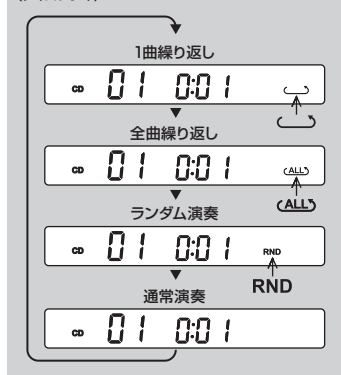
「再生モード/ステレオ/モノラル」ボタンを押す。

- 押すごとに設定が変わります。

操作部



〈ディスプレイ〉



- 1曲繰り返し …… お好みの1曲を繰り返し演奏します。



- 全曲繰り返し …… 全曲を繰り返し演奏します。



- ランダム演奏 …… 全曲を無作為に繰り返し演奏します。

RND

〈演奏中に設定した場合〉

演奏中の曲が終了後、ランダム演奏がスタートします。

〈一時停止中に設定した場合〉

1曲目の演奏が終了後、ランダム演奏がスタートします。

ラジオを聴く

1. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れる。

- 電源ランプが点灯します。

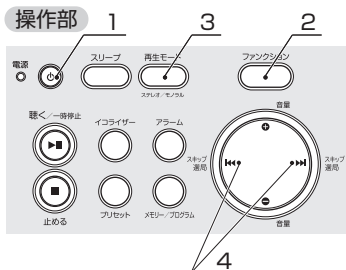
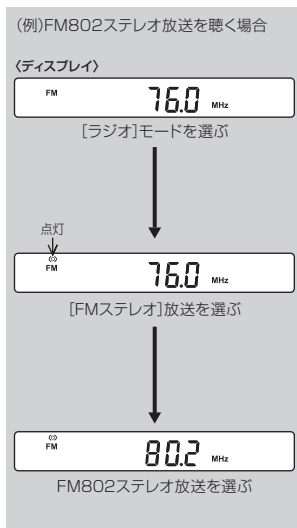
2. 「ファンクション」ボタンで[FM][AM]モードを選ぶ。

- [FM]または[AM]モード時には「FM」または「AM」と周波数がディスプレイに表示されます。

3. [FMステレオ]放送を聴く場合、「再生モード/ステレオ/モノラル」ボタンで[FMステレオ]を選ぶ。

- [FMステレオ]放送受信時には「Ⓢ」がディスプレイに表示されます。

4. 「スキップ/選局(⏮)(⏭)」ボタンで聴きたい局を選ぶ。



オートチューニング
(受信できる局を自動的に探します。)

「スキップ/選局(⏮)(⏭)」ボタンを約1～2秒長押しする。

ラジオを切る

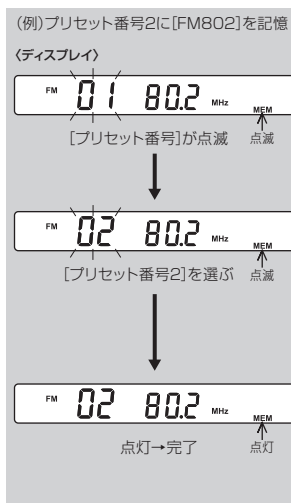
「電源(⏻)」ボタンを押して電源を切る。

プリセット機能 (お好みの放送局を記憶させる)

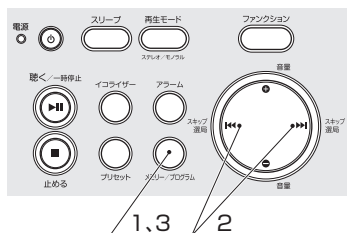
■最大AM10局、FM10局まで記憶させることができます。

※新しい局を記憶させると、そのプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

1. お好みの放送局受信時に「メモリー/プログラム」ボタンを押す。
2. 「スキップ/選局(◀▶)(▶▶)」ボタンで記憶させるプリセット番号を選択する。
3. 「メモリー/プログラム」ボタンを押し、確定させる。



操作部



ご注意

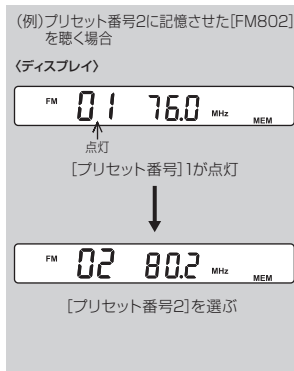
- 確定させないと、記憶されません。
必ず「メモリー/プログラム」ボタンを押してください。

4. 上記1～3の操作を繰り返し記憶していく。

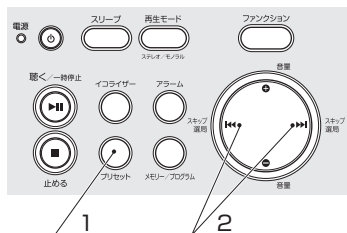
※約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

記憶させた放送局を聴く

1. [FM][AM]モードの時に「プリセット」ボタンを押す。
 - ディスプレイにプリセット番号1が表示されます。
2. 「スキップ/選局(◀▶)(▶▶)」ボタンで聴きたいプリセット番号を選択する。



操作部



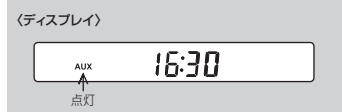
外部音声機器を聴く

■外部音声機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

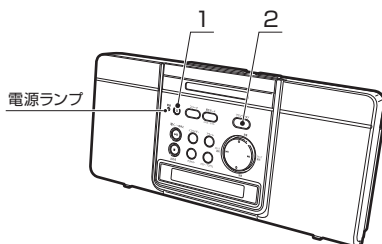
1. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れる。

- 電源ランプが点灯します。

2. 「ファンクション」ボタンで[AUX]を選ぶ。



3. 外部音声機器の演奏をはじめる。

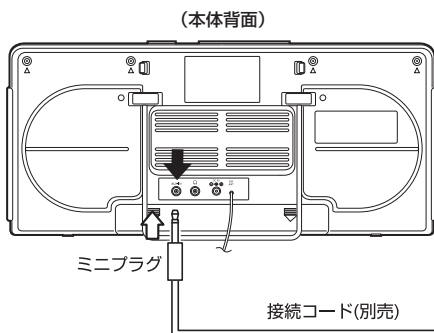


音量に過不足
を感じる時

本機と外部音声機器の両方の音量を調節する。

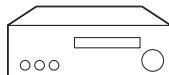
※外部音声機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

つなぎかた



本体背面の
「AUX端子」へ

お手持ちの機器の出力端子へ



- お手持ちの機器の出力端子にあったプラグ形状の接続コードを使用してください。

ご注意

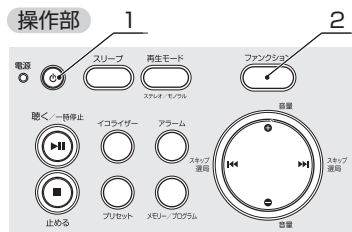
外部音声機器を聴くとき以外は、接続コードを本体から取り外してください。
CDやラジオ等を聴く場合、接続コードが本体に差し込まれたままになっていると、スピーカーから音が出ません。

Bluetooth® 機器の音声を聴く

■Bluetooth®機器をつないで、本機をスピーカーとして使用することができます。

ご注意

- Bluetooth®で音声聴くには、Bluetooth®機器が以下に対応している必要があります。Bluetooth®機器に付属の取扱説明書などを確認してください。
【Bluetooth®バージョン】
Bluetooth®標準規格ver 1.1/1.2/2.0+EDR/2.1+EDR/3.0のいずれか
【Bluetooth®プロファイル】
A2DP/AVRCP
※Bluetooth®機器の仕様や設定により、接続できない場合や、操作方法、表示、動作が異なる場合があります。

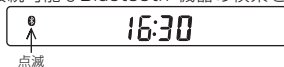


1. 「電源(⏻)」ボタンを押して電源を入れる。

- 電源ランプが点灯します。

2. 「ファンクション」ボタンで「📶」を選択する。

- 「📶」が点滅して、接続可能なBluetooth®機器の検索を開始します。



3. お手持ちのBluetooth®機器側でBluetooth®の設定画面などを開き、Bluetooth®発信を「ON」にする。

- Bluetooth®機器側の操作方は、Bluetooth®機器の取扱説明書などをご確認ください。

4. 接続可能な機種一覧で「SDB-4341」を選択する。

- 本体とBluetooth®機器が接続された後、「📶」が点灯します。
- ファンクションをBluetooth®に選択した後、毎回最後に接続した端末と自動的に接続するために「📶」が10秒間ゆっくり点滅します。
接続できなかった場合、「📶」が早く点滅し接続可能な端末を検索します。
- 本機がBluetooth®機器を検索、接続、解除する時は、短い電子音(小さい音量)が鳴ります。

5. 接続したBluetooth®機器の演奏をはじめめる。

音量に過不足を感じる時

本機とBluetooth®機器の両方の音量を調節する。
※Bluetooth®機器の出力が小さく、音がうまく聴こえない場合があります。

Bluetooth®機器の接続を解除する

演奏終了後

「ファンクション」ボタンまたは「電源(⏻)」ボタンを押す。

Bluetooth®について

著作権

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所要する登録商標であり、小泉成器株式会社は、これら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマーク及び商号は、各所有権者が所有する財産です。

機器認定

本機は電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、使用する時に無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機を分解、改造すること。
- ・本機に貼ってある定格銘版を消す、はがすこと。

使用制限

- ・日本国内でのみ使用できます。
- ・本機が以下の環境にある場合や建物の構造によって、使用可能距離(約10m)が短くなったり正常に動作しなかったりする可能性があります。
 - 電子レンジを使用中の周辺
 - 電波が反射しやすい金属物などの近く
 - その他の2.4GHz帯の電波を使用する機器の近く(ゲーム機やルーターなど)
- ・誤った取扱いをすると、Bluetooth®機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。必ず事前にバックアップをしてください。
- ・本製品を使用したことによるデータの損失または消失について、いかなる場合においても当社では責任を負いかねます。データの復元、再インストール、損失補償などはいたしません。
- ・あらかじめご了承ください。

ご注意

本機の使用周波数帯域は2.4GHzです。この周波数帯は電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、免許を要する無線局®および免許を要しない無線局®が運用されています。

1. 本機を使用する前に近くで無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉が発生した場合は、速やかに本機の使用場所を変えるか、使用を停止し、電波干渉を避けてください。

※1 工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局やアマチュア無線局など

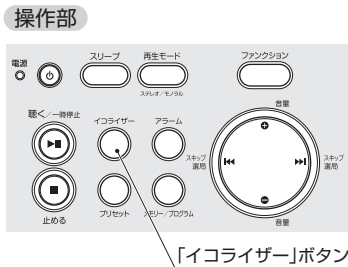
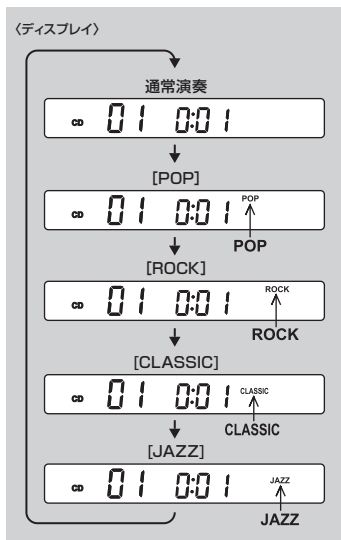
※2 特定小電力無線局など

■ イコライザー機能

■音源をお好みの音質で聴くことができます。

「イコライザー」ボタンを押す。

- 押すごとに設定が変わります。



アラームの使いかた

あらかじめ
時計を合わせておく。(P. 9参照)

■設定した時刻にお好みの音源を鳴らすことができます。

- 2つのアラーム時刻「アラーム1」(🕒)「アラーム2」(🕒)を設定できます(デュアルアラーム)。
 - 音源は[電子音]/[CD]/[ラジオ]から選択できます。
- ※あらかじめ音源(CD/ラジオ)を準備してください。

電源「切」の状態

1. 「アラーム」ボタンを長押しする。

- [アラーム時刻]が点滅します。
- 「アラーム2」(🕒)を設定する場合、ディスプレイに「🕒」が表示されるまで繰り返し「アラーム」ボタンを押してください。

2. 「スキップ/選局」(⏮️⏭️)ボタンで[時]を合わせる。

3. 「アラーム」ボタンを押し、「スキップ/選局」(⏮️⏭️)ボタンで[分]を合わせる。

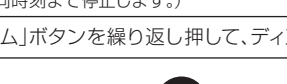
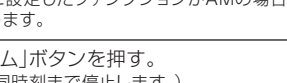
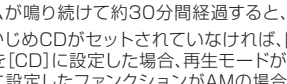
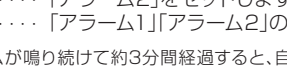
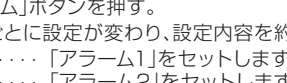
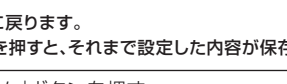
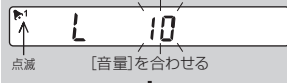
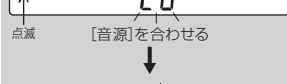
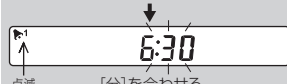
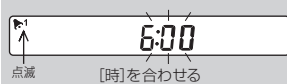
4. 「アラーム」ボタンを押し、「スキップ/選局」(⏮️⏭️)ボタンで[音源]を選ぶ。

5. 「アラーム」ボタンを押し、「スキップ/選局」(⏮️⏭️)ボタンで[音量]を設定する。

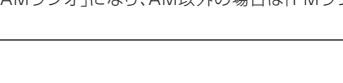
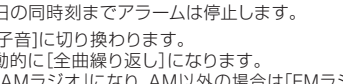
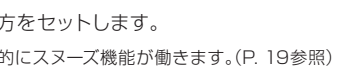
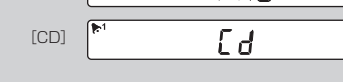
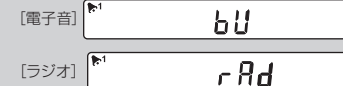
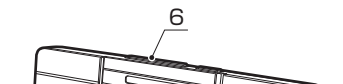
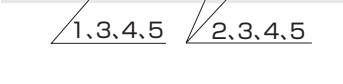
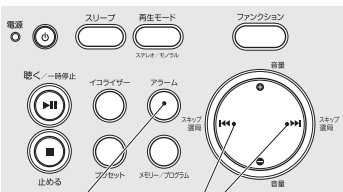
※音源を[電子音]に設定した場合、音量の設定はできません。

6. 「スヌーズ/ライト」ボタンを押して設定を保存する。

(例)「アラーム1」(🕒)を音源[CD]、音量[10]で午前6時30分に設定
<ディスプレイ>



操作部



※約10秒以内に操作しないと、元の状態に戻ります。

※設定途中でも「スヌーズ/ライト」ボタンを押すと、それまで設定した内容が保存されます。

アラームをセットする	「アラーム」ボタンを押す。 ● 押すごとに設定が変わり、設定内容を約5秒間表示します。 🕒 …… 「アラーム1」をセットします。 🕒 …… 「アラーム2」をセットします。 🕒🕒 …… 「アラーム1」「アラーム2」の両方をセットします。 アラームが鳴り続けて約3分間経過すると、自動的にスヌーズ機能が働きます。(P. 19参照) アラームが鳴り続けて約30分間経過すると、翌日の同時刻までアラームは停止します。 ※あらかじめCDがセットされていなければ、[電子音]に切り換わります。 ※音源を[CD]に設定した場合、再生モードが自動的に[全曲繰り返し]になります。 ※最後に設定した機能がAMの場合は「AMラジオ」になり、AM以外の場合は「FMラジオ」になります。
鳴っているアラームを止める	「アラーム」ボタンを押す。 (翌日の同時刻まで停止します。)
アラームを解除する	「アラーム」ボタンを繰り返し押して、ディスプレイから「🕒」「🕒」を消す。

アラームの使いかた

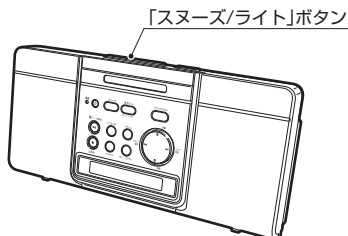
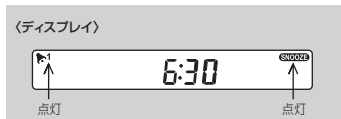
スヌーズ機能

■鳴っているアラームを一時的に停止させることができます。

アラームが鳴っているとき

「スヌーズ/ライト」ボタンを押す。

- 約10分間停止後、再び鳴り始めます。
- アラームが起動してから最大3回繰り返した後、翌日の同時刻まで停止します。



スヌーズ機能を
解除する

スヌーズが起動しているとき

「アラーム」ボタンを押して、ディスプレイから[SNOOZE]を消す。

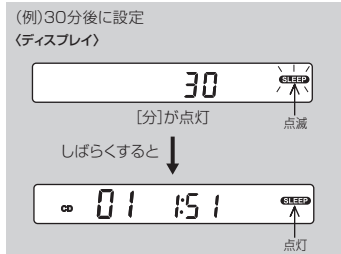
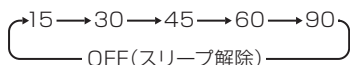
スリープ機能

■設定した時間後に、自動的に電源を切ることができます。

CD/ラジオを聴いている状態で

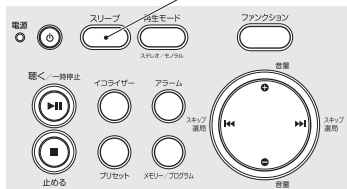
「スリープ」ボタンを押して、設定したい時間に合わせる。

- 押すごとに設定時間(分)が変わります。



操作部

「スリープ」ボタン



- 設定時間よりCDの演奏時間が短い場合、演奏終了約1分後に電源が切れます。

スリープ機能を
解除する

「スリープ」ボタンを繰り返し押して、
ディスプレイから[SLEEP]を消す。

残り時間を
確かめる

スリープ機能作動中

「スリープ」ボタンを1回押す。

お手入れのしかた

本体のお手入れ

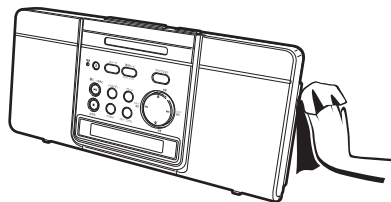
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤をうすめて布にふくませ、よく絞ってから汚れを拭きとってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジンやアルコール、シンナーなどでは拭かないでください。
本体を傷める原因となります。



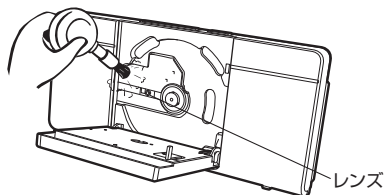
レンズのお手入れ

ごみやほこりがついた場合

レンズを市販のブロアーで2〜3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみやほこりをはき出します。最後にもう一度レンズをブロアーで吹いてください。

ご注意

レンズには指紋や汚れをつけないようにしてください。



仕様

受信周波数	FM : 76.0~108.0MHz AM : 522~1629kHz	電源	2電源方式 ● AC100V 50/60Hz (付属ACアダプター使用時) ● 電池 単3形アルカリ乾電池×6本(別売)
アンテナ	FM : ワイヤアンテナ AM : フェライトバーアンテナ内蔵	電池持続時間 (アルカリ乾電池使用時)	ラジオ受信時(JEITA) 約18時間 CD再生時(JEITA) 約5時間 Bluetooth接続再生時 約16時間
スピーカー	7.5cm(4Ω)×2個	消費電力	17W
入力端子	AUX端子×1	最大外形寸法	約318(幅)×57(奥行)×147(高さ)mm
出力端子	ヘッドホン端子×1	質量	約970g(乾電池含まず)
実用最大出力	2.0W+2.0W(JEITA)		
付属品	ACアダプター(型番:SAD-9001)、 バックアップ電池(型番:CR1616)、 取扱説明書(本書)、保証書		

●ACアダプター(型番:SAD-9001)

入 力	AC100V 50-60Hz 18VA	コード長	約1.9m
出 力	DC9V 1000mA	プラグ形状	φ3.5mm

●Bluetooth®部

バージョン	Ver.3.0	使用周波数帯域	2.4GHz帯(2.402GHz~2.480GHz)
対応プロファイル	A2DP1.0, AVRCP1.0	最大通信距離	見通し距離約10m*

*通信距離は目安です。周囲環境により通信距離が変わる場合があります。

●本機の仕様及び外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

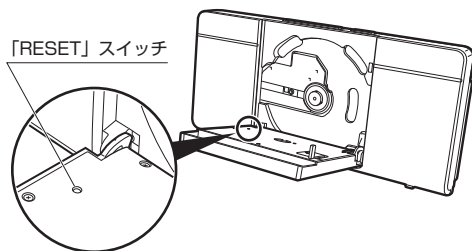
故障かな？と思われたときは

症 状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	乾電池は正しい方向で入っていますか？	乾電池の＋－を確かめてください。
	ACアダプターが抜けていませんか？	正しく接続してください。
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「No Cd」「Err」と表示する。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	お手入れのしかたを参考にクリーニングしてください。(P. 20 参照)
	レンズに霧や水滴がついていませんか？	CDを取り出してCDぶたを開け、1時間程置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
CDの音が飛ぶ。	CD-R、CD-RWが入っていませんか？	CD-R、CD-RWによっては正常に使用できない場合があります。
	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
Bluetooth® 機器内の音楽データが演奏されない。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池と交換してください。
	ディスプレイにBluetooth®のマークが点灯していますか？	「ファンクション」ボタンでBluetooth®モードにして、Bluetooth® 機器と接続してください。

RESETスイッチについて

使用中、ボタン操作を受けつけない時や動作がおかしい時は「RESET」スイッチを押してください。

- 先の細いもので押してください。
- 「RESET」スイッチを押すと出荷時の初期状態になります。
時刻設定、アラーム設定等はすべて消去されます。



アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

- 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- ステレオCDシステムの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか		ご使用 中 止
		このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントからACアダプターを抜いて必ず販売店にご相談ください。	

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。

尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけません

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけません

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2017年8月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)